

第3回教育振興基本計画策定委員会 概要

日 時	平成30年11月20日（火）午後1時30分 ～ 午後3時35分
場 所	教育委員会会議室
出席者	委員 8人（2人欠席） 事務局 教育長、教育部長、総務部長、理事兼企画政策部長 市民協働部長、こども希望部長、文化振興課長、スポーツ振興課長 こども希望課長、こども希望課指導主事、学務課長、学校教育課長 学校教育課主席指導主事、社会教育課長、図書館長、教育部長 教育政策室長、教育政策室係長、教育政策室指導主事、教育政策室主任
内 容	
<p>1 開 会</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 第2回策定委員会の内容について</p> <p>(2) 「第2期教育振興基本計画素案（序論・総論部分）」について</p> <p>※事務局から説明</p> <p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の策定委員会を受けて事務局で案の修正を行っていただいたがこれについて御意見があればお願いしたい。 <p>【副委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期の計画では、課題の部分は大きな区分けがなく、課題6項目が箇条書きとなっていた。今回、教育大綱にあわせて3つに項目立てたことは一見すると分かりやすくなったように見えるが、逆にベールがかかってしまい、本質が見にくくなっている感じがする。 ・単純に課題を羅列するのもよいのではないか。 ・人に関することで、教員不足への対応と資質・能力の向上が掲げられているが、教育を受ける側からすると、学びの環境に含むべき事ではないかと感じる。 ・確かな学力を身に付けるために一番必要なことは、授業改善等の教職員の努力である。その部分の記述が弱いのではないか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章1の(3)については、第3章の2「学びの環境に関すること」に移す。 <p>【副委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期計画の成果と課題の中の学校教育の最後の部分で学校施設の補修、建て替えについて記述しているが、学校再編について触れる必要はないか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この文章の前段に記載されている「公共施設マネジメントの観点を踏まえ」の中に学校再編のことが含まれている。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総論の段階で各論のある程度の部分のことまで言及してしまっているために、重複感がある。詳細は各論部分で述べるといふことでよいのではないか。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期計画の成果と課題の図書館部分の最後、子ども読書活動推進計画の周知と「夜の図書館」等のイベントの拡充の部分の関係がおかしいのではないか。 <p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期計画の成果と課題を盛り込んでいることは画期的なことだと思う。それもアンケートを実施して市民の意向を踏まえて行っているということが重要。 ・第1期計画の成果と課題が2ページちょっとで集約できているのか。特定の意見のみが掲載されているのではないかという危惧も感じる。 	

【事務局】

- ・市民からの意見をもとに成果と課題としてまとめたものであり、特定の意見を掲載したのではないことを御理解いただきたい。

【委員】

- ・中学校区学園化構想から小中一貫教育に取り組んでいくということだが、小中一貫教育の完成図が見えてこない。成果と課題のところでも小中一貫教育に触れるのがよいのではないか。

【委員】

- ・第3章の教育の主要課題のところでも小中一貫教育に触れている。
- ・第1期計画では総論の第1章では「歩み」だった。今回の案では「取組」になっている。「歩み」であれば、やってきたことを事実として述べるだけでよいが、「取組」ということになると振り返りや反省が必要になってくる。ここでは振り返りだけでよいのではないか。

【事務局】

- ・小中一貫教育の詳細な内容については各論で記述していく。

【委員】

- ・「特別支援」は「特別支援教育」とするのが適切ではないか。

【委員】

- ・「障害」と「障がい」の表記が混在している。整理して欲しい。

【委員】

- ・「基本的生活習慣」は「基本的な生活習慣」と表記していただきたい。

3 議事

(1) 基本目標について

(2) 「第2期教育振興基本計画素案（各論部分）」について

【委員長】

- ・全体の基本目標について皆さんの御意見を伺いたい。

【委員】

- ・「凜とした」は子どもには難しい。子どもだけではなく大人でも分からない人がいるのではないか。

【委員】

- ・キーワードとしたい言葉として「続ける」…生涯学習の観点から、「ともに」…多様な人とのつながりという視点から、それと「夢」を入れて欲しい。

【委員】

- ・「～し合う」学び合うのような、他者との関係を想起する言葉が入るとよいのではないか。

【委員長】

- ・目標が他の市町でもそのまま使えそうな言葉になってしまっているのか、という課題もある。掛川らしさをどう盛り込んでいくのか。

【委員】

- ・「生涯学習」が掛川らしさなのではないか。

【委員】

- ・報徳を入れたらどうか。

【事務局】

- ・報徳の考え方は、掛川市でもかけがわ道徳の中で子どもに教えているが、報徳に対する考え方は様々であり、教育目標として掲げることには慎重さが求められると考えている。

【委員長】

- ・各論の議論に移りたい。御意見をお願いしたい。
- ・各論の各分野の基本目標の部分に「市民総ぐるみの教育」を含めるべきではないか。施策として事業を行っている以上、目標がないと評価ができないのではないかと思われる。

【副委員長】

- ・各分野の基本目標にこの部分が記載されていないのは確かに不自然な感じがする。

【事務局】

- ・目標を立てて各分野の基本目標に項立てて記載するようにしたい。

【委員】

- ・図書館の基本目標にある「好奇心あふれる」というのは手段であって目的ではない。目標の再検討をお願いしたい。

【委員長】

- ・掛川市の計画の特徴としてステージ区分の最後に図書館が横断的に出てくることだと思う。悪く言えば唐突感がある。前期計画ではその詳細な説明がなかったため、今回は説明を記載したらどうか。
- ・一方で、公民館については記載がないが、各論で詳細に記述されているのは進歩と言えるのではないかと思っている。

【委員】

- ・学校教育の部分の施策が増えている。現場としては、やらなくてはいけないことが増えることはつらい。

【事務局】

- ・情報教育の部分、学校運営協議会については新たに加えた。表記の仕方について検討したい。

【委員長】

- ・施策の体系の市民総ぐるみの教育の(2)社会の変化に対応する教育の推進の部分は、「教育行政の推進」という文言を加えるべきではないか。

【委員】

- ・各論の中に指標値が記載されているが、これは必要か。

【委員長】

- ・冊子の後ろに指標値がまとめて記載されているが、各論の中に記載があった方が見やすい。
- ・指標値が90%を超えるようなものについては、目標そのものを再検討する必要があるのではないか。一定レベルを維持するという考え方もあるのかもしれないが。

【委員】

- ・目標を達成すると目標値を上方修正することがある。そうすると現場はとても苦しくなる。一定レベルを維持するという考え方も必要だと思う。

【委員長】

- ・学校教育で新しく加わったことは何か

【事務局】

- ・主に、小中一貫教育の推進や学校運営協議会の部分は新たに加えた。また情報教育の特出しや、外国人教育を(4)から(1)へ移動した。

【委員】

- ・特別支援教育に関する部分については、第1期計画とほとんど内容が変わっていない。課題も施策もこの5年間で変わらないということか。

【事務局】

- ・内容的には変わらないが、特別支援教育コーディネーターの教職員がどんどん変わっていくので、その養成が必要であり、実際に研修を行っている。

【委員長】

- ・社会教育の分野で新しく加わったことは何か。

【事務局】

- ・情報化が進む中で、それに関わる様々な問題が出てきている。インターネットのパトロール等を新たな事業として加えている。

【副委員長】

- ・家庭教育支援員については、学校の懇談会等に派遣をしているが、懇談会に参加する程度教育に意識の高い家庭しか対象にならないという問題がある。そうではない、実際に問題を抱えている家庭にどのようにアプローチしていくのが課題である。

【委員長】

- ・図書館について新たに加わったことは何か。

【事務局】

- ・文部科学省が定める図書館の設置及び運営上望ましい基準が平成24年に改訂された。

【委員】

- ・ここに記載されていることを着実に実施していただきたい。

【委員長】

- ・全体をとおして御意見があればお願いしたい。

【副委員長】

- ・学校教育の分野の地域とともにある学校づくりの部分で、地元の企業・人材を生かした教育活動の推進があるが、学校主導ではなく、地域が主体となってこうした活動ができるようになることが大切ではないかと思われる。

【委員】

- ・子ども育成支援協議会の地域コーディネーターも後継者をきちんと養成していかないと活動が停滞してしまう。地域でリーダーを養成するようなことも検討して欲しい。

【事務局】

- ・来年度から、コミュニティ・スクールを全市的に行っていきたいと考えている。地域代表としてまちづくり協議会の役員さんにも入っていただきたいと考えている。参画していただくことによって、地域へ教育に関する情報発信も出来るのではないかと考えているが、まちづくり協議会が地域ごとによって活動内容が異なっており、計画の中に盛り込むことについて躊躇している部分もある。

4 その他

今後のスケジュールについて

※事務局より説明

次回、第4回の策定委員会は12月19日(水)午後1時30分から開催する。

第5回については3月1日(金)を予定している。

5 閉 会